『真光寺川　里親の会』通信

２００７年５月９日
―通算第７３号―

―― 高橋日出男さん　追悼号 ―

高橋日出男さんへの弔辞

真光寺川を清流にする会・里親の会　会長　山口拓郎

故　高橋日出男さん

謹んで高橋日出男さんのご霊前に捧げます。

あんなに明るくお元気だった貴方がこんなに早く亡くなってしまわれるなんて今でも信じられない気持で一杯です。

以前、貴方から「私には癌の前科があります」と伺ったことがあります。それでも平素は至って明るく誰よりも活動的な貴方でした。昨年の暮れだったでしょうか「最近酒が飲めなくなりました」とおっしゃったので驚きました。こよなく酒を愛していた貴方だったからです。そして体調が余程よくないのかなといやな予感を覚えました。年初、体調を崩され急遽入院されたことを知りました。お見舞いに伺ったところ体重が激減して痛々しいお姿でした。それでも二月になり三分粥が五分粥となり月末には退院と聞き私共もようやく愁眉を開くことができました。ところが肺炎を併発されて容態が急変、私共の切なる願いも空しく帰らぬ人になってしまいました。訃報に接し茫然自失、言葉を失いました。こんな不条理なことがあっていいものかと怒りの念を押さえることができませんでした。

「真光寺川を清流にする会・里親の会」にとりまして貴方はかけがえのない大切な人でした。真光寺川は全長五キロ足らずの小さな川です。以前は自転車や粗大ゴミ、ビニール袋の散乱するきたない川でした。川をきれいにして子ども達に川へ還ってきてほしいという願いから「真光寺川を清流にする会」を立ち上げてから八年になります。爾来、毎月、清掃作業を続けてまいりました。今では自然が甦り多くの鳥や魚が見られるきれいな川になってきました。何よりもうれしいことは川を楽しむ子ども達が増えてきたことです。

その間、貴方は事務局長として会の基礎がため、運営に献身的な努力を捧げて下さいました。困ったこと、難しいことは一切貴方にお願いしてきました。貴方はあの爽やかな笑顔でてきぱきと処理して下さいました。将に大黒柱そのものでした。とりわけ情熱を傾けられたことはホームページの制作と「里親通信」の発行だったように思います。「里親通信」は今月で第７１号になります。その成果で私共の活動は周辺の住民や小・中学校の理解と支援を得ることができました。ちなみに８名で発足した会も「清流の会」「里親の会」併せて会員１６０余名になってまいりました。大変なご苦労だったことに思いをいたし改めて貴方のご貢献に感謝せずにはおれません。

今日は第二日曜日、真光寺川の定例の清掃日です。９時半に開戸親水に集まりました。いつもはおだやかな表情で流れている真光寺川ですが、今朝は夜来の雨で水嵩を増し濁流がとうとうと逆巻いていました。真光寺川もきっと貴方の逝去を悼んでいるのでしょう。ヘルメット姿も凛々しくバイクを駆使してゴミを回収する貴方のお姿は最早何処にもありませんでした。

生者必滅・会者定離はこの世のことわりとはいえ、余りにも急で、余りにもあっけないお別れでした。古来、人は白鳥になって故郷を目指すという伝承があります。いずれ一羽の白鳥となって真光寺川に飛来されるだろうと信じています。

高橋さん、惜別の憶いは胸に満ち尽きることはありません。残された私共は力を併せて真光寺川を清流にしたいという貴方のご遺志を大切に守っていきたいと考えています。遠い空の彼方からいつまでも私共を見守っていて下さい。

高橋さん、どうぞ安らかにお休み下さい。

―平成１９年３月１１日・共働学舎における「偲ぶ会」にて―

関係諸団体・学校からの追悼ﾒｰﾙ（あいうえお順）

☆ 町田市 教育委員会 市民大学推進係　大石 洋子さん

突然の訃報に接して、やさしかった高橋さんのお人柄が偲ばれる写真集「町田の自然」を観ながら高橋さんとの想い出に浸っています。街角ギャラリーのみどりのＨＡＴＳの展示の受付をご一緒したとき、写真を撮られる楽しさを情熱的に語られたこと、環境講座で共働学舎の経理事務をされていた高橋さんが、市民大学の先輩として施設案内をされながら、共通の友人である知的障がいのある青年のことを語り合ったことを、ご冥福をお祈りいたします。

☆鶴見川源流自然の会　鶴見川源流ネットワーク　鶴見川流域ネットワーキング代表
岸　由二様

真光寺川里親の会通信をおおくりいただき、高橋日出男さんご逝去の報に接しました。一度でしたが、市民大学の関連で、お酒をご一緒させていただき、真光寺川にかける夢を伺ったことがあります。鶴見川水系の汚染の問題については、昨年暮れ、メール上でなんどか意見の交換もさせていただき、真光川と鶴見川全水系を繋いでくださる方と、強く期待させていただいておりました。ご逝去まことに残念です。衷心より、お悔やみを申し上げます。高橋さんのお志しを引き継いでゆかれる皆様に深く、敬意を表します。

☆和光鶴川小学校　副校長　園田　洋一様

里親通信ありがとうございます。この場をお借りして高橋さんのご逝去にあたり哀悼の気持ちをお伝えしたいと思います。高橋さんには本校４年生の総合学習をはじめ鶴川の数々の自然についても様々な情報を伝えていただき、この地域にかける思いを感じてまいりました。改めて感謝をしたいと思います。お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

☆鶴川第三小学校　横山 昌司先生

６年前鶴三小に赴任して、いきなり６年生の担任で不安な毎日でした。６月、子どもの提案で真光寺川に学習に行きました。半分遊びの気持ちだったのですが、会の人が待ちかまえていて子どもの興味に応じて教えていただきました。それが高橋さんとの出会いです。子どもが川に落ちて、バイクで学校に連れて行ってもらったこともあります。おかげでこの地域にねざした学習をすすめることができました。ご冥福をお祈りいたします。

真光寺川を清流にする会　会員からの追悼文（あいうえお順）

☆岩上　誠次さん

いつもニコニコ高橋さん、カメラの名手高橋さん、文章上手な高橋さん、パソコン名人高橋さん、ビール大好き高橋さん。あなたとは植物観察、ウォーキング、バス旅行、みどりのHATS 役員会など多くのお付き合いがありました。みんなでよく語り笑い飲んだものでした。いい思い出がいっぱいです。
そして真光寺川での多大な活躍ありがとう。

2004 年１月　鶴見川流域センターにて

☆笠井　重彦さん

高橋さん、ごめんなさい。とうとう、お見舞いに伺えませんでした。
本当のところ高橋さんの苦しんでいる姿を見たくなかったのです。お会いしてから５年、開戸や下堰での立ち話ばかり、何かゆっくり話をしないままお別れとなりました。向こうで会えるなら酒の付き合いができるようにして、大学ラグビーなどを高橋さんと一緒に語り明かしたい。今年から関東学院の試合は高橋さんと一緒のつもりで観戦します。

☆五條　吉和さん

凄い男がいたものである。70 歳代の寿命は早すぎるとは言え、なしえた”偉業”の大きさから言えば完全燃焼の生涯だと讃えたい。清流の会は如何に彼に依存して、円滑に運営されていたかが痛い程、今頃になって解り、日毎に仲間内では彼を讃える声が大きくなっている。饒舌とはいえなくとも、会では熱心に論じ、むしろ影の存在として活躍し、一言も肩にかかる重荷にも弱音も、まして愚痴など聞かなかった。”人は死なない、少なくとも人々の記憶に甦る限り”という言葉がある。肉体の衣を脱いでも高橋兄は”清流の会”から離れることは無いだろう。有難う高橋さん！姿は見えなくても一緒に川のゴミを拾い続けましょう。合掌

☆桜井　文夫さん

高橋さんには短い間でしたが本当にいろいろの事を学ばせていただきました。真光寺川の活動を通じて自然環境の大切さ、町田の素晴らしい自然の観察保全などを通じて、同じ思いの仲間もたくさん紹介していただきました。共働学舎を通じて、どんな境遇にあっても現在ある状態で自分のやれることやり遂げることの、大切さを身をもって示してくれました、学舎の丘で安らかに休んでください。

☆塩谷　圭子さん

いつも「萌花ちゃんがオリンピックに出たら、応援に行くから」って仰っていたのに・・・・・とても残念です。そして、とても寂しいです。天国から萌花のこと応援してくださいね。

塩谷萌花ちゃんと故高橋さん

☆瀬川　晋さん

高橋様とは、私がエコネットに参加してからの短いお付き合いでしたが、私自身も数年前、ガンの手術したこともあり、大変気になる方でした。同病のよしみで、親しく話しあう仲になったのが昨日のような気がします。真光寺の川祭り、清掃活動などで、いつもお元気にバイクで走りまわっているお姿が目に焼き付いております。私もいずれそちらに行きますので、それまで天国での写真沢山とっておいてください。　合掌

☆田中　清さん

高橋さんのお人柄に惹かれ「真光寺川を清流にする会」に入会しました。高橋さんは、自分には厳しく他人には思いやりのある優しい方でした。こよなく自然を愛された、高橋さんの「町田の自然」写真集を手許に何時までも大切に保存致します。これから未だまだご活躍の矢先の急な御逝去、誠に残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

☆中村　順子さん　　高橋日出男さんを偲んで・・・

真光寺川を清流にする会において、いろいろご尽力していただきありがとうございました。

（中村さん　つづき）
毎月、オートバイに乗りこまめに動いていられた姿を思い出します。企業戦士として、自然を愛するボランティア活動、障害者施設のよき理解者として本当に人の三倍は生きたように思えます。そのどれもを誠実に行っていました。私もそのような生き方を手本にしたいと思います。

☆ 生江　透さん
貴殿は月例の川掃除では、バイクで巡回し気配りをさりげなくされていました。寡黙で行動される貴殿は真光寺川を清流にする活動にはなくてはならない人でした。思えば昨年 10 月でしたか、真光寺中学校により帰りに近くの蕎麦やで食事をした時に貴殿は好きなビールを呑まずに帰られた姿が最後でした。ご冥福をお祈りします。

☆二田　紀子さん　　高橋日出男さんの思い出（追悼）
１９９９年「町田市民大学」の講座を受講以来、みつめ会役員、里山歩き、月例の川掃除、「カワラノギク」栽培、「里親通信」への情熱、「川まつり」でのＴシャツ作りに試行錯誤した事など想い出は尽きません。川は今日も穏やかに変る事無く流れ、唯虚しさばかりが残ります。私の句を贈ります。

生きる力君に貰ひて朴の花　　紀子

高橋さんの提案で下堰親水近くの三角地に栽培したカワラノギク（絶滅危惧種）

☆山本　隆治さん　　高橋さんに感謝！
今から７年前の夏の或る日の昼過ぎ、我が家の近所で高橋さんに出会いました。「今日は何ですか？」とお聞きしましたら、「真光寺川の清掃をやり、櫻屋での反省会の帰り」とのこと。早速高橋さんにお願いし、真光寺川を清流にする会に 2000 年の９月から参加致しました。「清流の会、里親の会」や「多摩の自然見つめクラブ」で高橋さんは、お勤めの傍ら一人で大変な仕事をされていました。心より感謝申し上げ、ご冥福をお祈り致します。

高橋さんの眠る
小野路共働学舎のお墓

『http://www.shinkojigawa.com/』ホームページへご意見ご感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎　町田市鶴川 1-10-13　　TEL/FAX　042-735-0382
事務局：町田市広袴 3-24-11 山本隆治 TEL/FAX 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp

〈編集後記〉追悼号にあたり心からのご寄稿をいただき有難うございました。厚くお礼申し上げます。高橋日出男さんが清流の会や関係した方々の心に残していかれたものの大きさを改めて感じます。高橋さんが情熱を傾けられた「里親通信」とホームページを大切に守っていきます。ご冥福をお祈りいたします。（黒田健夫）